

そば粉屋の夫婦道

2014
春号
vol.5

創業130年、石臼挽きのそば粉をお届けする
カガセイフンからの便りです

加賀 扶美代

株式会社カガセイフン取締役 経理、総務、受注管理責任者
お茶と財津和夫が好きな50代
石臼で挽く越前蕎麦が大好きなおかみのブログ
「あなたの蕎麦がいい」<http://soba1.com/>



加賀ファミリーです

そばといえば…、そういえば…。 幼い頃の私と蕎麦、そして現在。

私とそばの想い出は、生家と父から始まります。生家は工場と住まいがくっついていたので、正月三が日を除いて毎朝起きてから、夜寝る前まで「ゴォーッ」という石臼が回る音を体感しながら生活をしていました。

私は三姉妹ですが、幼い子供たちにとっては、良い環境とはいえなかったかもしれせん。耳に響く音と、常に体に感じる弱い振動は、多少なりとも体に影響が

あったように思います。でも、おかげさまで、石臼の音も振動もすっかり体に染みついてしまいましたが(笑)。

工場の二階に三畳ほどのスペースがあり、父はそこで水曜日以外、毎日生そばを打っていました。近くのそば屋さんへ卸していたため、余った分で昼食を準備してくれました。かつお屋さんで粗削りしたかつお節を買ってきて、ダシをとり、つゆを作り、そばを茹でて“かけそば”にしてくれました。

学校へ入ると、半ドンで帰る土曜日に食べるのですが、のびきったそばは何とも重

くて、そんなに食べていなかったと思います。それでも、あのダシの香りは、今でも思い出します。

私がそばを美味しいと思うようになったのは、家の仕事を手伝い始めるようになってから。玄そばを磨き、皮をむいて、石臼にかけて、ふるいから出てくるそば粉をとっても愛おしいと思いました。

この粉で蕎麦を打って、大勢の人が食べてくださる喜び。口にした瞬間の香り、喉越し、旨味もすべて食べた人の感性に残るのです。もっと味わってもらえるように、心を込めてそば粉を挽いています。

子どもの時、さほどそばを食べられなかった私が、今ではそば打ちをし、人に食べていただき、打ったそばの切れ端さえ無駄にせず、「蕎麦の刺身」と称して食べています。そして、やはりうちのそば粉は美味しい!またお蕎麦が食べたい!と思うのです。



「蕎麦の刺身の作り方」…打ち立て蕎麦の切れ端をカット。お湯に浮かせ、すくいあげてわさび醤油で食べます。

そば米分のそばに

製造補助・商品梱包の担当、千秋です。
歴史がある会社のお仕事はとっても魅力的。
石臼の厚みの違いを見ると、経ってきた年数に歴史を感じます。
私の好きな場所は、たぐさんの石臼に囲まれ、そば粉の香りが漂っている工場そのものです。



お知らせ

実は、
こんなサービスもしています



保存が楽チン! チェック付き
「アルミ袋真空包装5kg入」でお届けします(営業向け)



粗挽きそば粉、そばがきそば粉、ガレット粉など御入用な分だけお届けします。



6代目 健太郎です

お問合せはこちら

株式会社カガセイフン

(インターネットショップ店 末吉の越前蕎麦粉)
イーナ ヨイコ ナヤ

☎0120-17-4578

TEL.0776-54-0578

<http://www.soba-sueyoshi.co.jp> あり
〒910-0804 福井県福井市高木中央1-3004
FAX 0776-54-4268 E-mail info@soba-sueyoshi.co.jp

●粉奈屋六代目の日記 最新情報発信
<http://www.kaga-seifun.com/sobako>



5代目 龍夫です

営業日のご案内

営業時間/月曜～金曜
8:30～17:30
定休日/土曜・日曜・祝日
※赤丸の日はお休みです。

2014年 3							2014年 4						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30			
30	31												

2014年 5							2014年 6						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
						2	1	2	3	4	5	6	7
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28
25	26	27	28	29	30	31	29	30					